

今こそ、 流れを変える時。

正社員を減らし、“生涯”派遣の若者を増やす 自公政権の労働者派遣法改悪案

民主党は働く皆さんと連携し、 成立を阻止しました。

しかし、自公両党は次の国会でも **法案成立を断念していません**

自公政権が目指した派遣法改悪案のポイント

① 派遣社員の受け入れ期間の制限を事実上撤廃

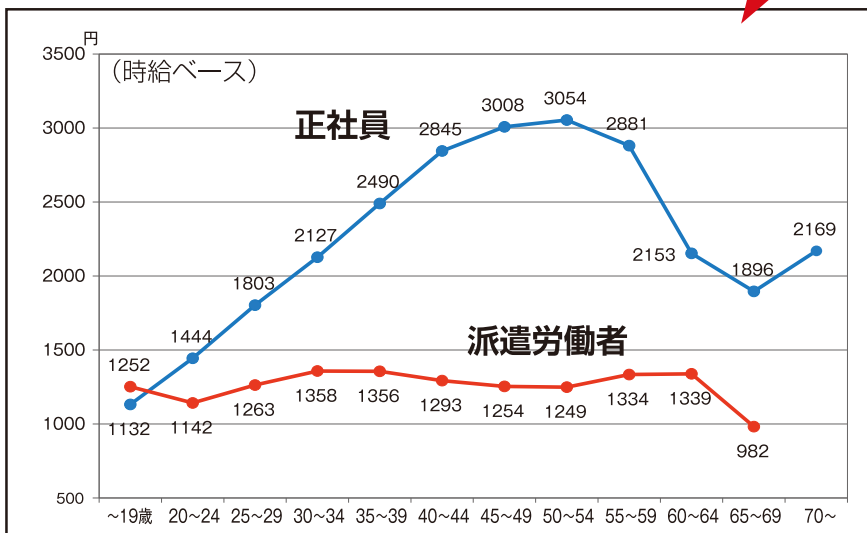
⇒企業は正社員ではなく、使い勝手の良い派遣社員を選択

現行 → 原則1年、最長3年(専門業務を除く)

改悪法案 → **無期限** (有期雇用の場合は、3年ごとに人を入れ替えて労働組合等から意見を聴くこと等が必要)

② 派遣社員の待遇改善措置は実効性なし

こんなに賃金が違う



資料出所: 正社員については、賃金構造基本統計調査(2008) 派遣労働者については、派遣労働者実態調査(2008)
出典: 雇用政策研究会報告書「持続可能な活力ある社会を実現する経済・雇用システム」(2010年)より抜粋

正社員を減らし、“生涯”派遣を増やす?



自公両党は「残業代ゼロ」も目指しています。

民主党は働く皆さんを守ります。

労働者派遣法改悪案の廃案には働く皆さんの強い後押しがありました



私たちのことを
考えて...

民主党は非正規雇用や派遣労働等の実態を把握し、状況改善につながる対策を行うため、党非正規雇用・ワーキングプア対策本部を設置。5回にわたって派遣で働く皆さんとの意見交換会を開催しました。多くの議員が出席し、派遣労働の実態や、労働者派遣法改悪案が成立した場合の実際の影響等について話を聞きました。

厳しい状況を訴える働く皆さんの生の声を聞き、民主党は「状況を悪化させないためにも改悪法案成立をやめさせなければならない」という強い決意のもと国会論戦に臨みました。働く皆さんの後押しがあったからこそ実現した改悪法案の廃案です。党に寄せられた声をご紹介します。

現場からの声

14年間同じ派遣先に勤めるが昇給はおろか交通費すら出ない。残業時間が月100時間を超えて倒れたときも労災は認められず、「命すら守ってもらえない」と思い知らされた。

高度な専門業務で正社員と同等かそれ以上の技術職だが、賃金は正社員の半分以下。正社員より派遣社員の方が危険な業務をしている。危険業務研修なども受けた記憶はない。

派遣先上司からセクハラを受け、派遣会社に相談したが受け止めてもらえず、加害者の上司は「うまくやって」と言い、派遣切りを恐れて働き続け心理的に追いこまれて辞職した。

昨年9月から営業事務の仕事をしていたが、今年6月に妊娠が分かり産休取得を希望したところ契約を打ち切られた。派遣は結婚・妊娠・出産は認められないというのが通常。

先が読めない不安、正社員との賃金格差、派遣会社の立場の弱さと並んで根本的な差別があり、社員と比べるとまるで物扱いだ。派遣労働者は守られるべき制度も保障もない。

「資格を取れば正社員になれる」と言う人がいるが、これは事情を知らない人の発言で、今回の改正は派遣を企業の都合で切り捨てやすくする内容。廃案にしてください。

民主党は働く皆さんの立場に立ち、雇用の安定を確保します。

正規・非正規問わず、すべての労働者の均等・均衡処遇の確保

過労死ゼロを目指した過労死防止対策推進

若者の就労支援の拡充

仕事と育児・介護の両立支援

など

今こそ、流れを変える時。



The Democratic Party of Japan
民主党

民主党へのご意見・ご要望をお寄せください。
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
TEL 03-3595-9988 FAX 03-3595-9994